

みんなので防ごう！高齢者虐待

介護の困り事は地域包括支援センターへ



市内8カ所にある地域包括支援センターでは、高齢者が家族などから虐待を受けた場合の対応を行っています。令和2年度は、51件のケースに対応し、そのうち、12件が虐待を受けたと判断されました。介護で悩んでいる人は、一人で抱え込まず地域包括支援センターへ相談してください。また、地域ぐるみで気を配り、高齢者虐待を防ぎましょう。詳しくは、**☎高齢者安心課(☎22257)**へ。

このような行為は虐待です

- ▽身体的虐待＝暴力をふるう、殴る、蹴る、つねるなど
- ▽介護＝世話の放棄・放任＝世話をしない、入浴させず不潔な状態にしておく、食事を十分与えないなど
- ▽心理的虐待＝精神的な苦痛

を与える、怒鳴る、ののしる、悪口を言う、無視するなど

▽性的虐待＝性的な行為を強要する、排せつの失敗があり下半身を裸にする、わいせつな行為をするなど

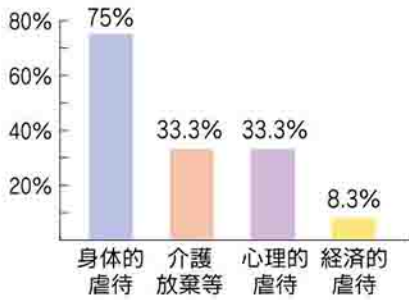
▽経済的虐待＝金銭や財産を勝手に使う、生活に必要なお金を使わせない、年金や貯金を勝手に使うなど

虐待の実情について

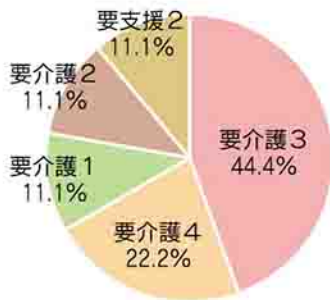
令和2年度厚生労働省による調査の結果、本市で虐待と判断されたケースに次のような特徴がありました。

①複数の虐待が重複して行われている場合が多く見受けられました。本市では、身体的

(表1) 虐待と判断された事例における虐待の種類(重複あり)



(表2) 虐待を受けた高齢者の要介護度



(表3) 虐待と判断された高齢者と介護者との関係



地域包括支援センターへ相談を

さりげない見守りや声掛け

- 虐待が最も多くなっています(表1)。
- ②虐待を受けた高齢者で、介護保険を利用している人のうち6割が要介護3以上でした(表2)。また、認知症と判断された高齢者は8割近くにのぼります。
- ③虐待をしてしまうのは、7割近くが息子となっており、配偶者は3割を超えています(表3)。

虐待を防ぐために

高齢者が高齢者を介護する「老々介護」や、息子が一人で介護を抱え込んでしまい、介護疲れやストレスが原因となるケースが多くみられます。

- ①介護を一人で抱えこまないようにしましょう
- ②身近に介護で困っている人がいないか気に掛け、声を掛け合いましょう
- ③気になる人がいたら、地域包括支援センターへ連絡しましょう

- など、ちょっとした気配りで虐待を防ぐことができます。
- 地域包括支援センターは、皆さんからの相談や連絡により、早期の対応が可能となり、問題を解決できるよう支援します。各地域の包括支援センターは次のとおりです。
- ▽中央地域包括支援センター **☎(☎222179)**
 - ▽西部地域包括支援センター **☎(北毛介護支援センター内)☎(☎7567)**
 - ▽金島・伊香保地域包括支援センター(特別養護老人ホームかない苑内) **☎(☎8366)**
 - ▽古巻地域包括支援センター(特別養護老人ホーム永光荘内) **☎(☎1300)**
 - ▽豊秋地域包括支援センター(介護老人保健施設銀玲内) **☎(☎2231)**
 - ▽小野上・子持地域包括支援センター(特別養護老人ホーム春日園内) **☎(☎8025)**
 - ▽赤城地域包括支援センター(介護老人保健施設赤城苑内) **☎(☎2218)**
 - ▽北橘地域包括支援センター(第二イサービスセンター虹の案内) **☎(☎7720)**